

2020年10月2日

首相の学術会議会員任命拒否②

任命拒否「首相に権限なし」 3教授、野党会合で批判—学術会議問題

時事通信 2020年10月02日 11時49分

菅義偉首相が日本学術会議の会員候補6人の任命を拒否した問題をめぐり、野党は2日、拒否された松宮孝明立命館大院教授ら3人からヒアリングを行った。松宮氏は「首相には推薦された候補者を拒否する権限はなく、理由のない拒否は違法だ」などと首相の対応を厳しく批判した。

松宮氏と共に参加したのは岡田正則早大院教授と小沢隆一東京慈恵会医科大教授。松宮氏と小沢氏はオンラインで参加した。

岡田氏は「はっきりした違反理由がない限り、従わないといけないのが法制局も含めた行政機関の常識だ」と強調した。小沢氏は「学会から推薦された者を任命しなければならないという1983年の国会答弁がある」と指摘した。

松宮氏は憲法との関わりに言及し、「日本学術会議は憲法23条の学問の自由をバックアップするもので、(首相の判断は)憲法上の疑義を生み出すのではないかと語った。

当事者が相次ぎ首相批判 学術会議問題で野党聴取

2020/10/2 12:37 (JST)人共同通信社



日本学術会議の総会で発言する梶田隆章会長=2

日午前、東京都内

日本学術会議の新会員候補6人の任命が見送られた問題で、任命されなかった松宮孝明立命館大院教授(刑事法学)らは2日、野党合同ヒアリングにオンラインなどで参加し「会議が推薦した会員を拒否することは会議の独立性を侵すと考えるべきだ」と首相を相次いで批判した。

立憲民主党など野党は内閣府などに「排除」の経緯をただし、26日召集方向の臨時国会に向け政権追及を強めた。

学術会議推薦除外の教授ら「禍根残す」 野党聞き取りに

朝日新聞デジタル吉川真布 2020年10月2日 11時48分



オンラインで行われた「学術会議推薦者外し問題」の野党合同ヒアリング=2020年10月2日午前9時33分、国会内、恵原弘太郎撮影

分、国会内、恵原弘太郎撮影



菅義偉首相が任命した「日本学術会議」の新会員をめぐる、会議が推薦した候補者105人のうち6人が除外された問題で、野党合同ヒアリングが2日、国会内であった。任命されなかった6人のうち、岡田正則・早稲田大教授(行政法学)、小沢隆一・東京慈恵会医科大教授(憲法学)、松宮孝明・立命館大教授(刑事法学)の3人が出席し、除外の理由が明らかになっていないことを批判した。

岡田氏は「建設的な提言がされないと、内閣がやることに『イエス』という提言や法解釈しか(政府は)聞かなくなる。今後の日本にとって大きな禍根を残すのではないかと懸念を示した。岡田氏は米軍普天間飛行場の移設問題で、沖縄県に対抗して防衛省がとった法的手続きを批判した経緯がある。

2015年に安全保障法制を審議する国会の公聴会で政府を批判した小沢氏も参加。小沢氏は「任命は学会推薦に従って行い、推薦された者を任命しないことはない、と1983年の国会答弁がある」と指摘。今回のことは「学問の自由に対する大きな侵害だ」と述べた。

また、松宮氏は「この問題の被害者は、日本の学術によって恩恵を受ける人々全体だ」と述べ、「日本の学術がこれから伸びていけるか、日本、世界の人々に成果を還元できるかという影響が一番大きい」と話した。(吉川真布)

学問の自由への侵害 学術会議会員見送りで野党ヒアリング

産経新聞 2020.10.2 10:56

立憲民主党など野党は2日、日本の科学者を代表する国の特別機関「日本学術会議」が推薦した新会員候補者の一部を菅義偉首相が任命しなかった問題に関する合同ヒアリングを国会内で開いた。日本学術会議が推薦した新会員候補のうち、菅首相が任命しなかった岡田正則早大院教授はヒアリングで「今後の学術に大きなゆがみをもたらす。法にのっとって手続きをする必要がある」と述べた。

小沢隆一東京慈恵医大教授も「学問の自由への大きな侵害だ」と批判した。松宮孝明立命館大院教授は「学術会議が推薦した会員を拒否することは会議の独立性を侵すと考えるべき」と訴えた。

日本学術会議 任命見送りの3教授 野党会合で菅首相の対応批判

NHK2020年10月2日 12時28分



「日本学術会議」の新たな会員候補の一部の任命を菅総理大

臣が見送ったことから、野党側は会合を開きました。会合には任命が見送られた3人の大学教授が参加し、菅総理大臣の対応を批判する意見が相次ぎました。

会合には、今回任命が見送られた、早稲田大学の岡田正則教授が出席したほか、立命館大学の松宮孝明教授、東京慈恵会医科大学の小澤隆一教授はオンラインで参加しました。

早稲田大 岡田教授「今後に変な大きな禍根を残す」

早稲田大学の岡田正則教授は「日本学術会議法は1983年と2004年に改正されたが、国会審議で『内閣総理大臣が推薦を左右することはあってはならないし、やらない』としていた。今回、それが踏みにじられ、大きなゆがみをもたらす。日本の学術発展のため、法の趣旨にのっとり、手続きを進める必要がある」と述べました。

また、「会員になぜ任命されなかったか分からないが、これによって、内閣が、自分たちがイエスと言えるような提言しか聞かなくなってしまうと、今後の日本にとって大変大きな禍根を残す。総理大臣に理由を説明してほしい」と述べました。

立命館大 松宮教授「理由のない拒否は違法」

立命館大学の松宮孝明教授は、「総理大臣には、会議の推薦を拒否する権限はなく、法律でも拒否は予定されていない。拒否する場合は、明確に理由を示す必要があるが、今回は理由もない。理由のない拒否は現行法上は違法だ。日本学術会議法の仕組みは、制度的に憲法23条の学問の自由をバックアップしているもので、ひいては憲法上の疑義を提示するものだ」と述べました。

慈恵会医大 小澤教授「学問の自由への大きな侵害」

東京慈恵会医科大学の小澤隆一教授は、「今回のことは、学問の自由に対する大きな侵害だ。学問や研究活動の中身を政府が審査して、会員の任命権を行使するということが、あってはならず、政治と学問の関係を脅かすものだ」と述べました。

井上科学技術相「提言は引き続き積極的に」

井上科学技術担当大臣は、閣議のあとの記者会見で、「担当大臣として、日本学術会議の事務は所掌しているが、会員の推薦や任命については関わっておらず、承知していない」と述べました。

そのうえで、「日本学術会議は、アカデミアを代表して多くの方が参画し、政府にもさまざま井上科学技術担当大臣な提言などをしてもらっているから、これは、引き続き積極的に行っていただきたい」と述べました。

自民 岸田前政調会長「政府から話を聞いてみたい」

自民党の岸田・前政務調査会長は、東京都内で記者団に対し、「今回のような形で任命されなかったのは前例がないと聞いており、注目している。理由も含めて実態について、政府から一度、しっかりと話を聞いてみたい」と述べました。

公明 石井幹事長「政府は丁寧な説明を」

公明党の石井幹事長は記者会見で、「学問の自由を侵害するものではないと説明していると聞いている。人事は総合的な判断なので、全容を説明するのは難しい面もあるかもしれないが、政府はできるだけ丁寧に説明してもらいたい」と述べまし

た。

任命されなかった教授ら「大きな禍根残すことになる」

JNN20年10月2日 11時19分

菅総理から新しい会員に任命されなかった大学教授3人が野党ヒアリングに出席し、「今後の日本に大きな禍根を残すことになる」などと厳しく批判しました。

『提言や法解釈しか聞かないよ』と、『聞きたい意見しか聞かないよ』と、こうなってしまうことが今後の日本にとって、大変大きな禍根を残すことになるんじゃないか（早稲田大学岡田正則教授）

「学術会議が選んで、推薦してきた会員について、それを拒否できるということ自体が、学術会議の職責職務の独立性を侵す。とんでもない話だというふうに、捉えていただいた方が」（立命館大学 松宮孝明教授）

野党ヒアリングに出席した3人の大学教授は安保法制や「共謀罪」など政府の方針に批判的な立場を取って来たこともあり、「研究内容を政府が精査し、任命権を行使することはあってはならない」「そもそも法律上、総理が会員を選ぶことは出来ない」などと厳しく批判。憲法で保障された学問の自由への侵害にあたるとして、菅総理に対し、説明を求めました。

また、野党側は政府に対し、今回の経緯について質しました。日本学術会議は今年8月、105人の推薦書を内閣府に提出しましたが、野党側は内閣府が9月に官邸に提出する「起案書」を作成した際、6人が除外されたのではないかと追及。内閣府は検討過程を示す文書について「確認中」と繰り返しました。

ヒアリングでは内閣法制局が2018年に内閣府から法律解釈について問い合わせを受け、先月にも、内閣府から口頭で再確認があったことを明らかにするなど、数年前から任命拒否に向けた準備とみられる動きがあったことも判明しました。

「内閣総理大臣の所轄のもとの、行政機関であります。運営にあたっては、独立性というものが当然求められていくと思いますが、あくまでも内閣総理大臣の所轄であります」（加藤勝信官房長官）

加藤官房長官は会見でこのように述べ、会員の任命の手続きは適正に行われたという認識を示し政治介入ではないことを強調しました。

一方、公明党の石井幹事長は、6人が任命されなかった理由を説明すべきとの指摘があることについて、「人事の全容を説明するのは難しい面もあるかも知れないが、できるだけ丁寧に説明していただきたい」と述べました。

公明石井幹事長 学術会議について政府に説明求める

ANN2020/10/02 13:13



日本学術会議が推薦した新しい会員のうち6人が政府から

任命されなかったことについて、公明党の石井幹事長は政府にできるだけ丁寧に説明するよう求めました。

公明党・石井幹事長：「人事に関しては総合的な判断ということがありますから、全容を説明するのは難しい面もあるかもしれませんが、できるだけ丁寧に説明して頂きたいというふうに思っています」

日本学術会議は新会員の候補として 105 人の学者を推薦しました。しかし、新たに政府から任命されたのは 99 人で 6 人が任命されませんでした。石井幹事長は学問の自由の侵害ではないかとの問いに対しては、「政府から説明を受けてないのでコメントは控える」と述べるにとどまりました。

野党「学問の自由を侵害」 政府を徹底追及の構え

ANN2020/10/02 12:16

日本学術会議は新会員候補として 105 人の学者を推薦しましたが、任命されたのは 99 人で、6 人は任命されませんでした。この問題を巡り、立憲民主党などの野党は日本学術会議を所管する内閣府からヒアリングを行い、政府が 6 人の任命を拒否した経緯や理由などについて問いました。

立憲民主党・山井衆院議員：「昭和 58 年の国会答弁では、実質的には総理大臣の任命で左右されない、拒否権はないと答弁しているが、それは変えたのか」

内閣法制局担当者：「解釈変更ではございません」

内閣府担当者：「私が申し上げられるのはきのう、官房長官が会見で申し上げている通りだ。推薦人が上がってきたものをその通りにする義務的な任命まで課されているものではない」

野党側は、安倍政権のもとでこれまでの政府答弁の解釈を変更し、拒否権を持てるようにしたのではないかと追及しました。「学問の自由への侵害」だとして、次の臨時国会の予算委員会などでも徹底追及する方針です。

学術会議 加藤長官 “人事見直すことない”

NNN2020 年 10 月 2 日 14:20

政府から独立して政策提言などを行う「日本学術会議」が推薦した研究者 6 人を菅総理大臣が任命しなかった問題で、野党側は 2 日朝、任命されなかった研究者からヒアリングを行いました。

今回、任命を拒否された候補者には、政府の方針に批判的な立場の研究者が複数含まれています。

早稲田大学・岡田正則教授「結局内閣がなんですかね、聞きたい意見しか聞かないよと、こうなってしまうことが、今後の日本にとって大変大きな禍根を残すことになるんじゃないか」
東京慈恵会医科大学・小澤隆一教授「安保法制は憲法に違反するという趣旨の口述を致しました。仮にこの行為が今回の任命拒否の、それこそ事後的な裏の裏の根拠になっているんだとしたら危惧を覚えています」

また、野党側は政府に対し「学会から推薦したものは拒否しない」などとする過去の政府答弁との整合性をたどりました。政

府側は解釈は変更していないとの考えを示したものの、明確な回答はしませんでした。

一方、日本学術会議は 2 日朝、都内で総会を開き政府に対し、任命を拒否した理由の説明と改めて 6 人の任命を求めることを決めました。

ただ、政府は任命の経緯については明らかにしない方針で、加藤官房長官は会見で人事を見直すことはないとの考えを示しました。

学術会議 6 人任命せず 研究者「禍根残す」

NNN2020 年 10 月 2 日 12:12

政府から独立して政策提言などを行う「日本学術会議」が推薦した研究者 6 人を菅首相が任命しなかったことをめぐり、野党側は 2 日朝、任命されなかった研究者からヒアリングを行いました。中継です。

今回、任命を拒否された候補者には政府の方針に批判的な立場の研究者が複数含まれています。野党のヒアリングに応じた研究者らは「今後の日本に禍根を残す」と政府への不信感を強めています。

早稲田大学・岡田正則教授「結局内閣がなんですかね、聞きたい意見しか聞かないよと、こうなってしまうことが、今後の日本にとって大変大きな禍根を残すことになるんじゃないか」
東京慈恵会医科大学・小澤隆一教授「安保法制は憲法に違反するという趣旨の口述を致しました。仮にこの行為が今回の任命拒否のそれこそ事後的な裏の裏の根拠になっているんだとしたら危惧を覚えています」

野党側は今後、任命の経緯など事実関係を徹底的に追及する方針です。政府は任命にあたっての条件や過程について明らかにしていませんが、政権幹部は「任命権者が責任をもって指名するのだから当然のことだ」と話しています。

一方、日本学術会議は 2 日朝、都内で総会を開き任命を拒否した理由の説明と任命されなかった 6 人の任命を求めることを決定しました。今後政府に対して申し入れを行う方針です。

“学者の国会” 日本学術会議 異例の首相 NG に波紋 国内

FNN2020 年 10 月 2 日 金曜 午後 0:12

菅首相による日本学術会議の会員人事が波紋を呼んでいる。日本学術会議は、政府から独立して政策提言などを行う学者の組織で、「学者の国会」とも呼ばれる。

会員は、学術会議の推薦に基づき、首相が任命する。これまで、この推薦通り会員が任命されてきたが、今回初めて、菅首相が、推薦された学者のうち、6 人を任命しなかったことがわかった。

この 6 人の中には、安倍政権の法案に反対した学者もいて、野党などからの反発が広がっている。先ほど、野党が任命を拒否された学者を招いて行ったヒアリングでは、首相官邸による人事権の行使が、学問の世界にまで及ぶことを危ぶむ声が続いた。

任命を拒否された早大大学院・岡田正則教授「これは、やはり今後の日本の学術にとって、大変大きなゆがみをもたらすと思います。学術を理解していない方のやり方かなと。あつてはならないし、きちんと説明していただかないと」

任命を拒否された立命館大・松宮孝明教授「内閣総理大臣は任命権はありますけれども、任命拒否権というのは、実は事実上ないと」

さらにヒアリングでは、任命を拒否された学者が、自身が国会に出席した際、安保法制は憲法違反だと発言したことが任命拒否の根拠になったとしたら、そうした質疑ができなくなってしまうと、危機感を訴えた。

一方、野党側は、政府側に対し、6人の任命拒否の理由を正したが、政府側は人事に関することだとして、回答を拒んだ。

さらに、加藤官房長官も2日午前、拒否の理由は明らかにせず、法律に基づいて行ったものだとして強調した。

加藤官房長官「総合的、ふかんの観点から、任命権者である内閣総理大臣が、日本学術会議法に基づいて任命を行ったということであり、そうした説明を、引き続き行っていきたい」と

政権の法案に反対の意見を述べた学者に対して、首相が人事権を発動することが適切かどうか、10月に召集される国会論戦の焦点となるとみられる。

「学術会議の独立性侵害」梶田会長、6人の任命求める 野党も相次ぎ批判

毎日新聞 2020年10月2日 11時11分(最終更新 10月2日 12時37分)



日本学術会議の人事を巡る問題の野党合同ヒアリングで発言する、会員に任命されなかった岡田正則早稲田大教授。画面左は小澤隆一東京慈恵会医科大教授、同右は松宮孝明立命館大教授＝国会内で2020年10月2日午前9時46分、竹内幹撮影

同ヒアリングで発言する、会員に任命されなかった岡田正則早稲田大教授。画面左は小澤隆一東京慈恵会医科大教授、同右は松宮孝明立命館大教授＝国会内で2020年10月2日午前9時46分、竹内幹撮影

日本学術会議の梶田隆章会長は2日午前、同会議の新会員候補6人の任命を見送った菅義偉首相の対応に関し、理由の明確化と、改めて6人を任命するよう求める要望書を出すことを総会に提案した。採決は同日夕の見込み。任命されなかった松宮孝明立命館大教授(刑事法学)らは野党合同ヒアリングにオンラインなどで参加し「会議が推薦した会員を拒否することは会議の独立性を侵すと考えるべきだ」と首相を相次いで批判した。

立憲民主党など野党は内閣府などに「排除」の経緯をただし、26日召集方向の臨時国会に向け政権追及を強めた。

残り576文字(全文826文字)

しんぶん赤旗 2020年10月2日(金)

学術会議介入 「学問の自由」脅かす重大事態 違憲・違法の任命拒否は撤回せよ 志位委員長が記者会見

日本共産党の志位和夫委員長は1日、国会内で記者会見し、菅義偉首相が日本学術会議が推薦した会員候補105人のうち6人の任命を拒否したのは、「学問の自由を脅かす極めて重大な事態」だと指摘し、「野党共闘を大いに強め、違憲、違法の任命拒否を撤回させるべく全力をあげたい」と表明しました。



(写真)記者会見する志位和夫委員長＝1日、

国会内

志位氏は、同会議が推薦した候補が任命されなかった例は過去に無く、任命を拒否された6氏のうち小澤隆一東京慈恵会医科大学教授ら3氏が連名の声明で「学問の自由を脅かす」「日本学術会議の存在意義の否定につながる」と抗議し撤回を強く求めていることに言及。「そもそも日本学術会議は、約87万人の日本の科学者を内外に代表する国の機関であり、1949年の発足以来、日本学術会議法3条に基づいて『独立して……職務を行う』と定め、高度な独立性が大原則として繰り返し確認されてきた」と強調。同年の同会議発会式に吉田茂首相(当時)が寄せた祝辞でも、「日本学術会議は勿論(もちろん)国の機関ではありますが、その使命達成のためには、時々の政治的便宜のための制肘(せいちゅう)を受けることのないよう、高度の自主性が与えられておる」と言明していたことや、1983年に会員の公選制から推薦制に変えた法改定のさいの国会答弁でも、丹羽兵助総理府総務長官(当時)が、「ただ形だけの推薦制であって、学会の方から推薦をしていただいた者は拒否はしない、そのとおりの形だけの任命をしていく」「決して決して(吉田)総理の言われた方針が変わったり、政府が干渉したり中傷したり、そういうものではない」と答弁(同年11月24日、参院文教委員会)した事実も明らかにしました。

そのうえで志位氏は、「これらにてらしても、今回の任命拒否はまさに日本学術会議法に反し、憲法23条の『学問の自由』を脅かす違憲、違法の行為だといわなければならない」と厳しく批判。「この違憲、違法の任命拒否の態度をただちに撤回することを強く求める」と重ねて表明しました。

監督権書いていない

志位委員長は1日の記者会見で、加藤勝信官房長官が同日の記者会見で、「首相の所轄で、人事等を通じて一定の監督権を行使することは法律上可能」だなどと発言したことに言及し、「日本学術会議法には監督権なんてどこにも書いていない。監督権を行使するなど、日本学術会議のまさに否定にほかならず、その存立を脅かし、学問の自由を否定するともんでもない居直りだ」と批判。「まさにファッショ的なやり方であり、菅政権が官邸の強権によって科学者、日本学術会議まで意のま

まにしようというところに乗りだしてきたのを許すわけにいきません。大問題として追及していく」と重ねて表明しました。

学術会議会長が任命を再要求 6人「排除」、首相に要望提出へ

2020/10/2 12:38 (JST)共同通信社



日本学術会議の総会后、取材に応じる梶田隆章会長＝2日午前、東京都内

日本学術会議の梶田隆章会長は2日、菅義偉首相が新会員候補のうち6人の任命を見送ったことについて、理由を明らかにすることと、改めて6人を任命するよう求める要望書を出すことを総会に提案した。採決は同日夕に行われる見込み。

梶田会長は総会で「対外的に要望を提出することをお諮りしたい」と述べた。また「要望書を提出して終わりではない。内部的には今後どう対応していくか議論を通して進めたい」と協力を求めた。

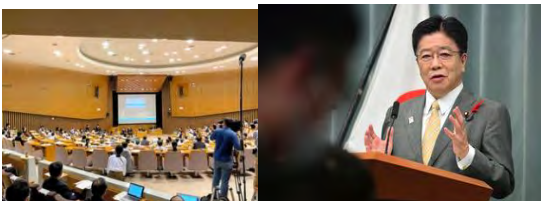
その後記者団に対して「学術会議は政府から独立して学問をベースに発信していく。その基本を変えてはいけない」と強調した。

任命しない理由、開示を 日本学術会議が首相に要望へ

朝日新聞デジタル石倉徹也 2020年10月2日 13時24分



学術会議の総会后、取材に応じる梶田隆章新会長



日本学術会議が新会員として推薦した6人が任命されなかった問題で、学術会議は2日、総会を開き、菅義偉首相に対して、任命しなかった理由の開示と、6人を改めて任命するよう求める要望書を出すことを決めた。

この日午前に都内で開かれた総会の冒頭、1日に新会長に選ばれたばかりの梶田隆章・東京大宇宙線研究所長が「任命されなかった理由を教えてください」「任命されていない方を任命していただくことを要望する」とする要望書案を提案。文言を一部修正して提出することが了承された。

梶田会長は総会で「この件は非常に重要だ。学術会議としてしっかりと対応をしたい。要望書をまずは(ホームページなどで)対外的に広く出したい。(要望書を提出する時期など)具体的な対応は今後議論したい」と話した。

総会后、梶田会長は取材に対し「学術会議は政府から独立して学問をベースに発信していく。その方針、基本は変えてはいけない」と述べた。(石倉徹也)

官房長官「あくまで首相の所轄」

加藤勝信官房長官は2日午前の記者会見で、日本学術会議の新会員から6人を除外した経緯の説明を会議側が求めるなど、当事者から批判が出ていることについて、「こうした(記者会見の)場で説明している」と反論した。会議側は6人を改めて任命するよう求めているが、加藤氏は「私どもは(会議側から)推薦を頂いた名簿から、(政府内の)プロセスを経て任命した」と述べるにとどめた。

加藤氏は「日本学術会議の運営にあたり独立性は求められるが、あくまで首相の所轄だ。任命に当たって責任を果たさせてもらっている」と述べた。学界の萎縮につながらないかとの質問には、「直接、そうしたことに繋がるものではないと思っている」と反論。この問題について菅義偉首相が記者会見を開いて説明すべきだとの指摘にも、「政府全体の対応について説明するのは官房長官の役割だ。そのためにこうした場が設けられている」と取り合わなかった。

各閣僚の閣議後記者会見では、「所管外」との理由で回答しない対応が相次いだ。小泉進次郎環境相は「学術会議の会員は首相が任命するので、私からお答えすることではないと思う。説明責任も官房長官が記者会見でたびたび答えている通りだと思う」と述べるにとどめた。

梶田会長が任命再要求 学術会議6人「排除」問題

日経新聞 2020/10/2 13:30

日本学術会議の梶田隆章会長は2日午前、同会議の新会員候補6人の任命を見送った菅義偉首相の対応に関し、理由の明確化と、改めて6人を任命するよう求める要望書を出すことを総会に提案した。採決は同日夕の見込み。



日本学術会議の総会后、取材に応じる梶田隆章会長(2日午前、東京都内)＝共同

任命されなかった松宮孝明立命館大教授(刑事法学)らは野党合同ヒアリングにオンラインなどで参加し、「会議が推薦した会員を拒否することは会議の独立性を侵すと考えるべきだ」と首相を相次いで批判した。

立憲民主党など野党は内閣府などに「排除」の経緯をただし、26日召集方向の臨時国会に向け政権追及を強めた。

学術会議は8月31日に新会員候補105人を推薦。首相は、安全保障関連法などに反対した法学者ら6人の任命を見送り、新会員99人が10月1日に任命された。加藤勝信官房長官は記者会見で、改めて6人を任命する考えはないとした。

日本学術会議は2日午前、前日に続き定例の総会を開催。梶田会長は「対外的に要望を提出することをお諮りしたい」と述べた。東大教授の梶田氏は2015年にノーベル物理学賞を受賞。

1日に会長に就任した。

野党ヒアリングには6人のうち3人が参加。岡田正則早大教授（行政法学）は「今後の学術に大きなゆがみをもたらす。法にのっとって手続きをする必要がある」とし、恣意的な選定を回避すべきだとした。小沢隆一東京慈恵医大教授（憲法学）は「学問の自由への大きな侵害だ」と反発。松宮氏は「明確な理由がない拒否は憲法上の疑義を生み出す」とも語った。

加藤官房長官は、任命しなかった理由を繰り返し問われたが「人事の話になれば当然、話せることに限界がある」と説明を拒否。内閣府の担当者は野党会合で「義務的に任命しないといけないものではない」とした。

松宮氏は17年、国会で共謀罪の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法を「戦後最悪の治安立法となる」と指摘。小沢氏は15年、国会で安保関連法に関し「歯止めのない集団的自衛権行使につながりかねない」と語り、廃案を主張した。岡田氏は沖縄県名護市辺野古沿岸部の埋め立てを巡り、政府に批判的な声明を発表している。

〔共同〕

「学者の国会」日本学術会議 6人の任命 改めて政府に要望へ

NHK10月2日 12時53分



日本の科学者でつくり、政府から独立して政策の提言などを行う日本学術会議の会員について、推薦された人のうち6人を菅総理大臣が任命しなかったことを受けて、日本学術会議は2日の総会で緊急に協議し、任命されなかった理由を明らかにするとともに、6人の任命を改めて求める要望書をまとめることを決めました。

加藤官房長官は、閣議のあとの記者会見で、「総理大臣の所轄のものの行政機関である『日本学術会議』について、任命権者である総理大臣が法律に基づいて任命を行った。こうした説明を引き続き行っていきたい」と述べました。

日本学術会議 2日午前 緊急に協議

日本学術会議は政府から独立して政策の提言などを行う日本の科学者を代表する機関で、1日付けで就任する新しい会員として、学術会議が105人の候補を推薦するリストを提出しましたが、菅総理大臣はこのうち6人を任命しませんでした。推薦した人が任命されなかった例は平成16年度に今の制度になって以降なく、日本学術会議は2日に開かれた総会で、緊急にこの件を協議しました。

そして、任命されなかった理由を明らかにすることと、6人の任命を改めて求める要望書をまとめることを決めました。具体的な文言などはさらに検討をすることにしています。

総会のなかで、日本学術会議の会長で、東京大学の梶田隆章さ

んは「非常に重要な件だと思うので、引き続き部会で議論して、学術会議としてしっかりと対応したい」と述べました。

学術会議 梶田会長「独立して学問を基礎に発信するもの」



総会を終えた日本学術会議の会長で東京大学の梶田隆章さんは「学術会議は政府からある程度、独立して学問を基礎に発信するものなので、その基本が変わることがあってはならない」と話しています。

加藤官房長官「総理大臣が法律に基づいて任命を行った」

加藤官房長官は、閣議のあとの記者会見で、「専門領域の業績のみにとらわれない広い視野に立って、総合的、ふかんの観点からの活動を進めていただくため、累次の制度改正がなされてきた。これを踏まえ、総理大臣の所轄のものの行政機関である『日本学術会議』について、任命権者である総理大臣が法律に基づいて任命を行った。こうした説明を引き続き行っていきたい」と述べました。

そのうえで、記者団が、「人事を見直す考えはあるか」と質問したのに対し、「推薦をしていただいた名簿から プロセスを経て任命させていただいた」と述べました。また、「任命しなかった理由を明らかにすべきではないか」という質問に対し、「当然、お話しできる話には限界がある。その中で、できるかぎりの説明を行っているし、引き続き、行いたい」と述べました。

一方、加藤官房長官は、「当然、憲法に書いてある学問の自由は、しっかり保障していかなければならない」と述べました。

学術会議は「学者の国会」 約87万人の科学者を代表

日本学術会議は「学者の国会」とも言われ、政府から独立して政策提言や科学の啓発活動などを行う国の特別な機関です。

およそ87万人の科学者を代表していて、210人の会員からなります。任期は6年で、3年ごとに半数を任命します。

その会員の任命手続きは日本学術会議法という法律によって定められています。

この中では、「日本学術会議は規定に定めるところにより、優れた研究または業績がある科学者のうちから会員の候補者を選考し、内閣総理大臣に推薦するものとする」と推薦の手順を定めています。そして、「推薦に基づいて内閣総理大臣が任命する」としています。

日本学術会議には3つの部があり、第一部には人文・社会科学、第二部には生命科学、第三部には理学・工学の科学者が所属していて、政府に対する政策提言、国際的な活動、科学者間のネットワークの構築、科学の役割についての啓発を主な役割として活動をしています。

大臣などから諮問や審議の依頼を受けていて、自然災害の増大に対する社会の構築について答申をまとめたり、大型研究プロジェクトの見直しに関する回答をまとめたりしています。また、平成29年には、防衛省が大学などに研究資金を提供す

る制度を始めたことを受けて声明をまとめ、「軍事目的の科学研究を行わない」とするこれまでの声明を「継承する」と公表しています。

外された教授「不当な判断」6人任命求め要望書提案

ANN2020/10/02 12:12

日本学術会議の梶田隆章会長は菅総理大臣が新会員候補のうち6人の任命を見送ったことについて、改めて6人を任命するよう求める要望書を出すことを総会に提案しました。

日本学術会議は新会員候補として105人の学者を推薦しましたが、任命されたのは99人で、6人は任命されませんでした。これを受け、梶田会長は2日午前に任命を見送った理由と改めて6人を任命するよう求める要望書を出すことを総会に提案しました。

日本学術会議会長・梶田隆章東大教授：「私たちとしては(任命が見送られた)理由が分からないので、まずは理由を知りたい」

また、憲法学が専門で今回任命されなかった東京慈恵会医科大学の小澤隆一教授はANNの取材に対し、不当な判断だと話しました。

任命が見送られた慈恵医大・小澤隆一教授(憲法学)：「2015年の安保法制の審議の際に衆議院の中央公聴会で公述人として意見を述べました。仮にそれが今回の事態と関連しているのであれば、これは政府の推進する政策に対して一切、学術の立場からでも口を挟むなというメッセージとして受け取らざるを得ない」

加藤官房長官、任命拒否見直さず 学術会議推薦「学問の自由は保障」

時事通信 2020年10月02日13時06分



記者会見する加藤勝信官房長官＝2日午前、首相官邸

加藤勝信官房長官は2日午前の記者会見で、菅義偉首相が日本学術会議の推薦した会員候補6人の任命を拒否したことについて「任命権者である首相が日本学術会議法に基づいて任命を行った。そうした説明を引き続き行っていきたい」と述べ、見直す考えはないと強調した。

加藤氏は、学問の自由を脅かすとの批判があることに、「憲法に書いてある学問の自由はしっかり保障しなければならない」と指摘。研究内容の萎縮につながる懸念には「直接そうしたことに繋がるものではない」と反論した。

自身の関与については「決裁の段階で説明を受けた」と述べ、首相から事前の相談がなかったことを明らかにした。首相が国民に直接説明するため、会見などを開くことには、否定的な考えを示した。

学術会議人事見直さず 官房長官

日経新聞 2020/10/2 12:34

加藤勝信官房長官は2日午前の記者会見で、学術の立場から政策提言する行政機関「日本学術会議」の人事を見直す考えがないとの立場を示した。学者の研究活動の萎縮にはつながらないとの認識も表明した。

日本学術会議の人事を巡っては同会議が推薦した学者6人の任命を見送っている。政府方針に異を唱える学者を政府側が排除したのではないかとの見方がある。加藤氏は「任命権者の首相が日本学術会議法に基づいて任命を行った」と語った。立憲民主党など野党は2日、内閣府に事実関係を確認した。野党は「学問の自由への侵害だ」と批判している。

「昨日説明した通り」学術会議の人事介入、加藤官房長官が拒否の理由語らず

東京新聞 2020年10月2日11時54分



学者の立場から政策提言する国の特別機関「日本学術会議」が推薦した新会員候補6人の任命を、菅義偉首相が拒否した問題で、加藤勝信官房長官は2日午前の会見で、人事決定の理由について、「昨日説明した通り」「人事の話でお話できる話は限界があり、できる限りの話をしている」と詳しい説明を拒否した。また、人事決定に至る決裁文書の存否については明言を避けた。

加藤官房長官は「任命権者である内閣総理大臣が日本学術会議法に基づいて任命を行った。そうした説明を引き続き行ってみたい」との説明を繰り返した。

また協議文書や決裁文書が存在するかを問われた加藤官房長官は「一般論として、文書は内閣府で適切に対応すべきもの」と答えた。(デジタル編集部・三輪喜人)

日本学術会議、首相直轄も法が独立性保証

東京新聞 2020年10月2日06時00分

日本学術会議は約87万人の国内の科学者を代表する機関で、日本学術会議法に基づき、首相が所轄し経費を国が負担する。同法は、会議が政府から独立して科学に関する審議などを行うことも明記している。同会議が推薦した会員候補の任命を巡り、政府が影響力を強めれば、会議の独立性に疑問が生じかねない。

◆軍事目的の研究に反対

同会議はこれまで、政府に対する多くの勧告や提言などを行ってきた。科学者が戦争に協力したことへの反省から1950年と67年に、軍事目的の研究を禁じる声明を出した。

2017年には、軍事応用できる基礎研究に費用を助成する防衛省の「安全保障技術研究推進制度」の予算を、安倍政権が大幅増額したことを踏まえ、50年ぶりに軍事研究に関す

る声明を発表。助成制度について「政府による介入が著しく、問題が多い」と批判した。同制度は15年度の予算は3億円、16年度は6億円だったが、17年度は110億円に急増した。

◆首相は直接説明せず

今回、会議が推薦した会員候補を政府が任命しなかった理由について、記者団は菅義偉首相に直接説明するよう求めたが、首相サイドは「官房長官会見で丁寧に応じる」として、応じなかった。(清水俊介)

日本学術会議任命見送り「丁寧な説明を」 公明・石井幹事長
産経新聞 2020.10.2 12:16

公明党の石井啓一幹事長は2日の記者会見で、科学者で構成する政府機関「日本学術会議」が推薦した新会員候補の一部の任命を政府が見送ったことについて「全容を説明するのは難しい面もあるかもしれないが、できるだけ丁寧に説明してほしい」と述べた。

石井氏は「人事に関しては総合的な判断ということがある」とも指摘した。加藤勝信官房長官は1日の記者会見で、現在の制度になった平成16年度以降、推薦候補が任命されなかったのは初めてと説明した。

しんぶん赤旗 2020年10月2日(金)

首相が6人任命拒否 学術会議総会 新旧会長“大変重大”



(写真) 日本学術

会議総会=10月1日、東京都内

日本学術会議は1日、東京都内で総会を開き、山極寿一前会長(京都大学前総長)が、同会議が推薦した新会員のうち6人が菅義偉首相により任命を拒否されたことを明らかにしました。山極氏は退任のあいさつで「日本学術会議法第7条で『推薦に基づき』とあるのは重い規定。任命拒否は日本学術会議の歴史になかったことで重大だ。大変残念だ」と述べ、菅首相に説明を求めていると報告しました。

6人の名前は公表されませんが、本紙の取材に、小澤隆一東京慈恵会医科大学(憲法学)、岡田正則早稲田大学(行政法学)、松宮孝明立命館大学(刑事法学)、加藤陽子東京大学(歴史学)、芦名定道京都大学(キリスト教学)、宇野重規東京大学(政治学)の6人の教授が任命を拒否されたことを明らかにしています。多くが安保法制や共謀罪、沖縄の新基地建設などに反対を表明しています。

山極氏は任命拒否の理由を示すよう菅首相あてに文書を提出したものの、現時点まで説明はないと報告。「日本学術会議は内閣府と密接な関係を持つが、命令を聞く組織ではない。科学者が業績を精査して推薦したのだから、説明もなく任命しないことは重大な問題だ」と強調し、新しい会長らが、この問

題を議論し、今後対応するよう求めました。

日本学術会議の会員は210人で任期は6年。3年ごとに半数が改選されます。同会議は今回の改選にあたり、105人の推薦者を8月31日に内閣府に提出しましたが、総会直前の9月28日夜に、任命しない理由を言わずに6人を推薦名簿から外してきました。

総会で新会長に選出されたノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章東京大学教授は、総会後の会見で「重要な問題なので、しっかり対処していきたい。学問の自由、学術会議の中立性にもかかわることだと思っている」と話しました。

小澤、岡田、松宮の3氏は連名で、任命拒否の撤回に向け総力であたることを求める要請書を日本学術会議会長あてに提出し、出席した会員に配りました。(関連記事)

本紙の取材に総会出席の会員からは、この問題への疑問や批判が出ました。新会員になった吉岡洋京都大学特定教授(美学・芸術学)は、「学問にも口を出すという菅政権による宣言だ」と批判。「こんな介入がまかり通れば、学者が萎縮する」(関西の国立大学教授)、「学術会議の目的は政策の提言で議論の場。これは科学者に議論させないということだ」(学術団体役員)などの声も聞かれました。

しんぶん赤旗 2020年10月2日(金)

学術会議存立 脅かす 菅首相の人事介入 任命拒否された3氏が抗議 小澤・岡田・松宮氏 要請書

「気持ちとしては、怒りだ」。憲法研究者の小澤隆一・東京慈恵会医科大学教授は、そう憤ります。小澤氏は、日本学術会議が会員候補として推薦しながら菅義偉首相が任命しなかった6人のうちひとりです。1日に東京都内で開かれた同会議総会の会場で小澤氏は、ともに任命されなかった岡田正則・早稲田大学法学学術院教授、松宮孝明・立命館大学大学院法務研究科教授と連名で作成した要請書を配布しました。



(写真) 日本学術会議総会=

1日、東京都内

要請書は同会議会長にあてたもの。それぞれの研究活動に基づく任命拒否ならば「憲法第23条が保障する学問の自由の重大な侵害として断固抗議の意を表します」と強調。「任命拒否の撤回に向けて、会議の総力であたる」よう求めています。

日本学術会議法は、同会議について「わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学界と提携して学術の進歩に寄与することを使命とし、ここに設立される」と明記しています。

小澤氏は本紙の取材に、学術会議の存立にかかわる重大問題だと強調。「学術会議は科学者の代表として独立して職務を行い、政府に対する提言も行う重要な役割のある機関だ。人事

上の独立というのは、極めて重要な要素だ。推薦に基づいて行うべき任命を、相応な理由も明かさずに任命しないと決めた。到底認められない」と批判。今回の事態は学問の自由への重大な介入であり、学術と政治・政府の正常な関係を維持するためにも、あってはならないと語りました。

学術会議は首相所轄ながら、独立した機関として、科学の振興や技術の発達に関する方策などについて政府に勧告することができます。

早稲田大学の岡田氏は「学術会議の仕組みが、本来の役割を果たせないものにされてしまうことが一番問題。学術会議が今後、自分たちの問題として取り組む必要がある課題だ」と述べました。

首相「当面はコロナ対応」 早期解散に慎重姿勢、公明代表に伝達

日経新聞 2020/10/2 14:15

菅義偉首相は2日、首相官邸で公明党の山口那津男代表と会談し、早期の衆院解散・総選挙に慎重な姿勢を示した。「新型コロナウイルス対応にしっかり取り組み、経済を回復軌道に乗せる。当面それをやる」と述べた。会談後、山口氏が記者団に明らかにした。

しんぶん赤旗 2020年10月2日(金)

次の総選挙で政権交代と野党連合政権の実現を 志位委員長が表明

日本共産党の志位和夫委員長は1日、国会内で記者会見し、各野党との連携について問われて、「野党が、今度の総選挙で政権交代を実現すると腹を固めて宣言するとともに、自公政権を倒したあと、共産党も含めたオール野党で野党連合政権をつくるという宣言をする、この二つの宣言をやれば情勢を大きく変えていくことは必ずできる」と強調しました。

志位氏は、政策的内容について、市民連合が各党に提出した要望書に、日本共産党は全面的に賛同し、立憲民主党の枝野幸男代表が「方向性を共有できる」と発言していることを指摘。

「新自由主義を切り替える、あるいは立憲主義を回復するなど、大きな方向で、かなりの部分で一致がある」として、「今後の話し合いを通じて、野党連合政権を一緒につくる方向にすすめるのではないかと述べました。

その上で、今度の総選挙をどういう構えでたたかうかが重要だと強調。菅義偉政権は、安倍晋三前政権を継続するとともに、さらにファッショ化する危険をもった政権だと批判し、

「今度の総選挙で、菅政権を倒す、そして政権交代を実現する。この点で野党が腹を固めて、宣言することが大事だ」と指摘しました。

同時に、自公政権を倒したあとの政権について、「共産党も含めて、オール野党で野党連合政権をつくと、もう一つ宣言する。この二つの宣言をやって、この政権が実行する政策として、市民連合の要望をベースに練り上げていけば、情勢を大きく変えることは必ずできる」と強調しました。

また「オール野党」とは何かと問われて、立民、共産、国民、社民、れいわ、参院会派の碧水会、沖縄の風の5党2会派が、首相指名選挙で枝野代表に投票したとして、「このオール野党で、政権交代をやる、新しい政権をつくることを追求したい」と語りました。